

施策評価表

平成28年度分

①	施策コード	8・3・2						
②	施策名	主要道路の整備	評価担当課	建設課		総合戦略	行政経営	過疎
③	目標	幹線道路（国・県道）の整備に満足している町民の割合		施策の内容	町民の日常生活、物流等の経済活動を支える主要道路については、快適で利便性の高い道路環境の整備を進めます。また、子どもから高齢者の誰もが安心・安全に通行できる道路環境を提供します。			
④	現状と課題	生活道路（身近な道路）の整備に満足している町民の割合						
⑤	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 広域幹線道路としては、相馬市～角田市～白石市を連絡する国道113号、角田市～福島県伊達市を連絡する国道349号が通っています。これらの路線と主要地方道3路線、一般県道7路線が接続し、幹線道路網が形成されています。 ◆ 生活道路については、これまで計画的に整備を進めてきましたが、多くの路線において、幅員が狭く、全体的に損傷が進んでいることから、計画的な改良・補修を行い、安全で快適な道路環境を整備が求められています。 						

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
事業進捗率	%	0.0		-	-	-	50.0		
道路改良率	%	67.9		-	-	-	69.0		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
		219,990	234,392	521,500	324,000	326,000

1年間の取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	安心・安全に通行できる道路環境を提供するため、補助事業7路線、町単独4路線の改良を実施した。
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>◎</p> <p>【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

今後の取組

⑩	今後の取組	補助事業配分額が厳しい状況であり、コスト削減を図りながら事業進捗を図る。又、早期発注及び年度間スケジュールの見直し、年度内完成に向けた発注を行う。
---	-------	---

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 補助事業配分額が厳しい状況であり、道路整備計画にやや遅れが生じている。コスト削減を図りながら事業進捗を図る。又、早期発注及び年度間スケジュールの見直し、年度内完成に向けた発注を行う。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 引き続き、主要道路については、快適で利便性の高い道路環境の整備を進めること。また、子どもから高齢者の誰もが安心・安全に通行できる道路環境を提供すること。